



透析中の警報(静脈圧)について

透析施行中に最も多く発生する警報です。頻発するため軽視されがちですが、透析における重大事故につながるため適切に対処することが重要です。

・静脈圧上限警報

原因は、静脈側回路の屈曲や静脈側留置針の先端が血管壁や静脈弁に当たっている。静脈側留置針内に血栓やフィブリンが詰まっているなどです。



・静脈圧下限警報

原因は、静脈側留置針の脱落、シャントの血流不良による脱血不良、静脈圧を測定するフィルターが濡れているなどです。

「透析室からのお願い」

当透析室では、透析中の出血事故を防ぐため患者さんにシャント肢を布団から出していただけるようお願いしています。また、寒い場合は布団にシャント肢を入れていただけて結構ですが、血圧測定時に布団をめくってシャント肢の確認をさせていただきます。安全に透析を受けていただくためにご協力をお願いします。